



答えて市長！

# 一般質問

## 「さくらまつり」の今後の展開と、桜の保全について

戸田 馨

問 さくらまつりの全市の展開による桜の観光資源化と、桜の保全に対する対策と課題について伺う。

答 市民生活部長 市の桜の魅力を市内外に伝えることが地域産業全体の活性化に繋がると捉え、市観光協会と連携し、さくらまつりの展開について検討する。



さくら通りの満開の桜

## ◆教育大綱について

問 今年度4月より教育大綱の

周知が始まった。更なる周知の方法について伺う。

答 教育部長 市長の教育大綱に対するメッセージを収録したPR動画や、動画DVD、音声CDなどの活用により、あらゆる機会を捉え周知を図ってゆく。市内小中学校管理職を中心に、PTA会長、教育委員などを対象とした「吉川市教育大綱に係る研修会」を開催し、学校の中から浸透させてゆく。

## 厚労省。自衛官、警察OB。新採、再任用職員も大幅増

伊藤 正勝

問 元県幹部に続く厚労省キャリア。自衛官、警察OBの起用。新採用は大幅増の28人。職員定数、再任用と臨時職員の実状について伺いたい。

答 政策室長 厚労省派遣職員は子育て支援の推進。自衛官、警察OBは危機管理部門や不当な要求への対応など組織力の強化や関係機関との連携を深めることが狙い。職員定数は現在417人。新採用は退職者補充、育児休業代替、業務増で28

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

人。即戦力を期待し民間からも4人を採用。再任用職員は23人に。臨時職員は200人で半年間の雇用期間で更新。

問 時間外手当を含めた人件費の推移。業務見直しやライフワークバランスについては如何か。

答 政策室長 一般職の人件費総額は26年度32億7千万。29年度は33億9千万円を計上。時間外手当はここ2年間増加している。再任用職員は年金支給年齢の引き上げに伴い今後増加。知識、経験を生かした活用を目指す。業務の一部を民間にゆだねることや事務効率化につとめ、職員の仕事と家庭の両立についても目配りしていく。

## 高齢者の楽しみや励みにイベント・表彰制度を検討

降旗 聡

問 吉川の発展に寄与された方への祝意を表す形として敬老祝い品と、敬老祝い金から選択できることになった(米寿・白寿)。祝い品・祝い金の選択と共に、空間を提供するののも一つのアイデアではないか。そこで、①高

齢者が楽しめるイベントの開催について、②健康づくりなど、地域の中で率先して活動している方の表彰について。

答 健康長寿部長 ①平成28年度に市制施行20周年事業の一つとして実施したNHKラジオ公開録音や「なんでも鑑定団」公開収録は、多くの高齢者の皆様に好評をいただいた。また、今後このようなイベントを開催してほしいといった意見を聞いている。市としても高齢者の方が楽しめる時間を提供できればと考えているので、意見を伺いながら検討する。②なまらん体操など地域型介護予防事業の実施にあたり、熱心に地域のために活動する方や団体がある。より一層の励みや活動の広がりに繋げていただくためにも表彰の場を含め、表彰について検討する。

## 吉川市内にプレイパークを

林 美希

問 こどもたちが自らの発想で遊び、自主性と創造性を育むことを目的としたプレイパークを、

吉川市にも設置していただきたいが、いかがか。

答 都市整備部長 現在のところ公園を活用したプレイパークの構想はないが、自分たちの想像力で工夫し自ら遊びを作り出すことができる空間としてこどもたちの成長に効果的な活動であると認識している。今後様々な方法で検討していく。

## ◆ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)への市の見解は

問 ソーラーシェアリングは農業振興と環境保全を両立し得るものと考えているが、市の見解は。

答 市民生活部長 全国各地で先進事例が報告されており、農業者にとっても多角的な農業経営の選択肢のひとつと認識しているが、作物収穫量や品質の低下、農作業の効率性の低下といった農業上のリスク、投資回収のリスクもあることから、国や県からの情報収集に努め農業者からの相談に適切に対応していく。

## 北部・東部地区の開発について

加藤 克明

問 吉川美南駅東口地区の市街化区域編入決定が予定され、一区切りついた。市民から今後の開発計画はどのようなか。法人的か。声が出始めている。法人税が、たばこ税を下回る大変厳しい状況になっているが、東

埼玉テクノポリスの拡張や三輪野江の白地地区の今後について伺う。

答 市民生活部長 産業振興や雇用拡大を図る観点から事業化を図る必要性がある。拡張について県企業局に働きかけていく。

答 都市整備部長 三輪野江白地地区は約120haあり、全地区すべて開発は非常に難しい。常盤道北側を農地拠点区域、南側を将来開発区域、地区西側を農地保全区域として検討していく。また隣接する三郷市と情報共有、連携を図り検討していく。

## ◆「八坂祭り」の観光資源PRについて

問 シティープロモーションとして、メディアに紹介をしてPR効果を図っては如何か。

答 市民生活部長 経済効果を含め、地域活性化が図れるよう積極的にPRしていく。



八坂祭りのあばれ神輿